



ジャパンカートカップ第4戦は毎年恒例、灼熱の筑波戦。今年は例年に以上に気温があがる酷暑での開催となった。

前回、第3戦の富士スピードウェイ大会ではサマーフェスタとなり時間も2時間と長期戦になったが、今回は通常通りの60分耐久レース。

総合トップはWR250クラスに参戦したS.L.R.Karting。登山用に使うハイドレーションパックで水分補給しながらの力走を見せ、53周を単独で走りきった。



WR250 クラス



ミッション 125 クラス



OPEN クラス



ミッションクラス



KT100 クラス



MAX クラス



登山用に使われるハイドレーションパックを導入したことで、カートの走行中でも水分補給が可能となり、60分を無理なくひとりで走りきったというのがS.L.R.Kartingの太田代明大。WR250のトルク溢れる走りが好きだという



平均年齢56歳というのがエッフェガーラオールドタイマー。4人のドライバーで構成されたチームで、ミッション125に参戦している。今回、酷暑をモノともしない激走をみせて、総合順位でも2位に入る素晴らしい成績を収めた

